

東京学芸大学大学院教育学研究科（修士課程）

令和4年度科目等履修生出願可能科目表

科目等履修生希望の方は、以下の注意事項を必ず読んでください。

- 本学新修士課程「次世代日本型教育システム研究開発専攻」及び「教育支援協働実践開発専攻」で開設している授業科目のうち、科目等履修生を受け入れている科目を「科目等履修生出願可能科目表」に掲載しています。掲載のない科目は履修できません。
- 「科目等履修生出願可能科目表」は、毎年度更新されます。また、科目開講学期、開講曜日・時限、担当教員等は年度途中で変更となる場合がありますので、出願前にもう一度内容をご確認のうえ、出願をしてください。
- 免許法上の対応について
2019年度新設の「次世代日本型教育システム研究開発専攻」及び「教育支援協働実践開発専攻」は、文部科学省から教職課程認定を受けていないため、科目等履修生として修得した単位を、専修免許の取得申請の際に使用することはできません。
- 授業時間について

第1時限	8:50~10:20
第2時限	10:30~12:00
第3時限	12:50~14:20
第4時限	14:30~16:00
第5時限	16:10~17:40
第6時限	18:30~20:00
第7時限	20:10~21:40

専攻基盤科目

開設	授業科目名(日本語表記)	単位	担当教員	講義概要	開設学期		曜日・時限		開講情報			授業コード
					春期	秋期	1~5限	6~7限	隔年情報	集中方式	その他	
次世代日本型教育システム研究開発専攻	次世代日本型教育システム研究開発概論	2	○橋本美保、遠座知恵、見世千賀子、小山英恵、戸田孝子	グローバルな視点から日本の教育の現状や特質を把握するために必要な教育学の基礎的な研究方法論や課題について概説する。	○		木5		奇数年夜間		教室未定	16110020
次世代日本型教育システム研究開発専攻	次世代日本型教育と国際社会	2	○橋村修、若林恵、下田誠、水津嘉克、出口雅敏	アジアやヨーロッパなど諸外国の教育と社会をめぐる諸問題について考察・議論する。		○		水6			教室未定	16110030
教育支援協働実践開発専攻(教育協働研究プログラム)	教育支援協働学概論	2	○倉持伸江、柴田彩千子、新免蔵晴、前田稔	コミュニティの中で多種多様な主体が協働する「学び」について取り上げ、考察する。	○			木6			教室未定	16410010
教育支援協働実践開発専攻(教育協働研究プログラム)	教育コラボレーションと現代社会	2	○加瀬進、君塚仁彦	さまざまな立場の人たちが連携、協働して教育にあたることで実現される、学校をはじめとする子どもの成長や発達場の場づくりについて、現代社会におけるその意義を論ずる。	○			木4			教室未定	16410020

専攻基礎科目

開設	授業科目名(日本語表記)	単位	担当教員	講義概要	開設学期		曜日・時限		開講情報			授業コード
					春期	秋期	1~5限	6~7限	隔年情報	集中方式	その他	
教育支援協働実践開発専攻(教育協働研究プログラム)	教育ネットワーク論	2	○加瀬進、君塚仁彦	教育支援のネットワークによって営まれる学校教育のあり方について、さまざまな視点から具体的に論じ、その意義を講ずる。		○		木6			教室未定	16420010

専攻展開科目

開設	授業科目名(日本語表記)	単位	担当教員	講義概要	開設学期		曜日・時限		開講情報			授業コード
					春期	秋期	1~5限	6~7限	隔年情報	集中方式	その他	
次世代日本型教育システム研究開発専攻	次世代日本型教育:理論と実践:基礎	2	小森伸一	日本の教育で重視される「生きる力」と「体験」を主題に、昨今注目される「グリット」「レジリエンス」の能力向上に着目しつつ検討していく。	○		火4					16130010
次世代日本型教育システム研究開発専攻	次世代日本型教育:理論と実践(地域A)	2	水津嘉克	社会学の考え方に即したかたちで、現代社会の中の様々なテーマを取り扱う。必ずしも受講学生の専門が社会学でなくとも、社会的な分析視点(論理的思考)を身につけてもらうことを目的とする。	○			金6				16130020
次世代日本型教育システム研究開発専攻	次世代日本型教育:理論と実践(地域B)	2	橋村修	前近代の日本列島周辺の各地域の歴史事象を歴史地理学、民俗学、文献史学を融合させながら解明する手法を検討する。	○		水1					16130030
次世代日本型教育システム研究開発専攻	次世代日本型教育:理論と実践(地域C)	2	出口雅敏	本演習では、学校教育に多文化共生の視点を導入するため、文化人類学・民俗学をはじめとする文化研究と教育をつなぐ、理論と実践的方法を探る。	○		木3				中央6号館3階欧米研究演習室	16130040
次世代日本型教育システム研究開発専攻	地域文化・基礎	2	加賀美雅弘	世界の諸地域の文化をグローバル化とローカル化のなかで考察する。	○		木2					16130110
次世代日本型教育システム研究開発専攻	地域文化(日本A)	2	有澤知乃	民族音楽学の研究課題と方法を文献購読を通して学ぶ。事例として取り上げる国や地域は日本に限定せず、広く世界の様々な音楽文化を扱う。	○		火2					16130120
次世代日本型教育システム研究開発専攻	地域文化(アジア)	2	下田誠	中国古代史の基本問題を取り上げる文献を講読し、基本的な方法論を身につける。		○	月5				教室未定	16130130
次世代日本型教育システム研究開発専攻	地域文化(日本B)	2	水津嘉克	論文を書くうえで必要な、調査の考え方・手法について学習し、実際の調査のための「知識」を身につける。		○	木3					16130150
次世代日本型教育システム研究開発専攻	地域文化(ヨーロッパ)	2	若林恵	ドイツ語圏の文学作品や文献を用いて、人間形成や教育について考察・議論する。		○	火5					16130160

専攻展開科目

開設	授業科目名(日本語表記)	単位	担当教員	講義概要	開設学期		曜日・時限		開講情報			授業コード
					春期	秋期	1~5限	6~7限	隔年情報	集中方式	その他	
次世代日本型教育システム研究開発専攻	地域文化(社会人類学)	2	小西公大	社会人類学の基礎的な文献にあたりながら、グローバル化時代におけるローカリティの生成のメカニズムを学ぶ。	○			月6				16130170
次世代日本型教育システム研究開発専攻	異文化間交流・基礎	2	下田誠	東アジア地域の多様性の認識と漢字文化圏としての歴史的なりたちを基礎に、キャンパス・アジア構想を考える。	○			月5			西2号館2階第3会議室	16130180
次世代日本型教育システム研究開発専攻	異文化間交流(移民・難民)	2	加賀美雅弘	都市に暮らす移民・難民・外国人の居住地区の景観に着目して、共生について考察する。		○	木2					16130190
次世代日本型教育システム研究開発専攻	異文化間交流(文化概念)	2	小西公大	文化概念の発生と現代的用法を通じて本質主義と構築主義のせめぎ合うポリティクスとしての文化的現象を捉える。		○		月6				16130200
次世代日本型教育システム研究開発専攻	異文化間交流(文化人類学)	2	出口雅敏	文化人類学、文化研究の専門論文やエスノグラフィーを精読しながら、グローバル化時代の文化研究の理論と方法を習得する。		○	木3				中央6号館3階欧米研究演習室	16130210
次世代日本型教育システム研究開発専攻	異文化間交流(異文化理解)	2	橋村修	比較民俗学、地誌学、歴史地理学的視点に立った異文化理解の方法について、民俗や農業漁業の技術伝承の比較を事例に考察する。		○	水2					16130220
次世代日本型教育システム研究開発専攻	異文化間交流(歴史理解)	2	若林恵	ドイツやスイスの「過去の克服」と歴史教科書に関する文献を読み、考察する。	○			火5				16130230
次世代日本型教育システム研究開発専攻	Project Study on Education in Japan B	2	小森伸一	This lecture addresses the core concept of "Gaia Education," as sustainability Education, certificated educational program by UNESCO, which focuses on sustainable society in the educational context.	○			火6				16130270
次世代日本型教育システム研究開発専攻	日本語教育 I A	2	岡智之	日本語教育の教育内容としての、日本語の文法を言語学的手法(認知言語学、対照言語学)を用いて分析し学ぶ。また日本語教育への応用について考える。	○			金5				16130280
次世代日本型教育システム研究開発専攻	日本語教育 I B	2	許夏玲	対照言語学を含む、日本の談話研究における視点を見る。本授業では、理論と実践の両方を重視し、先行研究の事例をもとにディスカッションを行うほか、会話データの文字化を練習するなど、談話研究への認識を深めていく。	○			月3				16130290
次世代日本型教育システム研究開発専攻	日本語教育 I C	2	小西円	日本語教育の方法論について理解を深めるため、コーパスを用いた研究の基礎を学ぶ。また、量的研究と質的研究の往還を図る。	○			月2			教室未定	16130300
次世代日本型教育システム研究開発専攻	日本語教育 II A	2	岡智之	本授業では、日本語の論理に基づく日本語文法の体系化を目指して、「場の言語学」を学び、その記述と応用可能性について考えていく。もって、日本から発出する日本語の論理に従った文法とその教育を世界に提案していく。		○		金5				16130310
次世代日本型教育システム研究開発専攻	日本語教育 II B	2	許夏玲	日常会話において、ある表現が実際どのように使用されているのか、聞き手がどのように話し手の発話意味を解釈するのかを語用論の観点から考察し、現代の日本語研究への応用について考える。		○		木3				16130320
次世代日本型教育システム研究開発専攻	日本語教育 II C	2	小西円	日本語学習者の言語産出や教材の分析を通して、教材開発の力を養い、言語能力・コミュニケーション能力について考える。		○		木2				16130330
教育支援協働実践開発専攻(教育AI研究プログラム)	データ・アナリティクス実践論	2	森本康彦	ラーニング・アナリティクスなど、データを学習者の学びに効果的に生かすための分析・活用方法について実践的に学ぶ。		○		水6				16230020
教育支援協働実践開発専攻(教育AI研究プログラム)	知的ソフトウェアシステム論	2	樋山淳雄	人工知能技術を用いたソフトウェアシステムについて、人工知能技術をどのようにシステムの設計・開発に用いているのかを学ぶ。		○		月2			中央1号館1階情報演習室(N106)	16230040
教育支援協働実践開発専攻(教育AI研究プログラム)	人間情報学論	2	加藤直樹	人間情報学のうち特にHuman Computer Interactionを取り上げ、AI等のICTを適用する教育情報システムとの関係について学ぶ。		○		木4				16230050
教育支援協働実践開発専攻(教育AI研究プログラム)	ヒューマン・コンピテンシー総論	2	○関口貴裕、宮寺庸造、中野幸夫	これからの社会を生きる子どもたちに育成すべきコンピテンシー(実際の資質・能力)の諸相について、主に心理学を理論的基礎として学ぶ。	○			月3			教室未定	16231010

専攻展開科目

開設	授業科目名(日本語表記)	単位	担当教員	講義概要	開設学期		曜日・時限		開講情報			授業コード
					春期	秋期	1~5限	6~7限	隔年情報	集中方式	その他	
教育支援協働実践開発専攻 (教育AI研究プログラム)	ヒューマン・コンピテンシー各論(発達) A	2	榊原知美	21世紀を生きる子どもたちに必要なコンピテンシーのうち、数量概念の発達など認知の発達と文化に関わるものを中心に学ぶ。		○	火	4				16231050
教育支援協働実践開発専攻 (教育AI研究プログラム)	ヒューマン・コンピテンシー各論(認知)	2	○犬塚美輪、 関口貴裕	科学技術・情報技術が進化し続ける社会に必要なコンピテンシーについて、認知スキル、学習スキル等を中心に、心理学を基礎として学ぶ。		○	月	2				16231070
教育支援協働実践開発専攻 (教育AI研究プログラム)	ヒューマン・コンピテンシー各論(社会) A	2	杉森伸吉	AI時代を生きる子どもたちに育成すべきコンピテンシー(実際の資質・能力)のうち、集団心理学に関するコンピテンシーについて学ぶ。	○		金	5				16231080
教育支援協働実践開発専攻 (教育AI研究プログラム)	ヒューマン・コンピテンシー各論(社会) B	2	品田瑞穂	AI時代を生きる子どもたちに育成すべきコンピテンシー(実際の資質・能力)のうち、対人関係に関するコンピテンシーについて、社会心理学を基礎として学ぶ。	○		月	4				16231090
教育支援協働実践開発専攻 (教育AI研究プログラム)	アントレプレナーシップ論	2	小宮山利恵子	イノベーションがどのように創出されるか、またそれに欠かせない起業家精神とは何かについて基礎を学ぶ。		○	水	2			教室未定	16231110
教育支援協働実践開発専攻 (教育AI研究プログラム)	教育未来構想論	2	堀田龍也	最先端技術が先導する新しい社会における教育のあり方について検討する。		○	木	3				16231120
教育支援協働実践開発専攻 (教育AI研究プログラム)	文化社会系先導的教育応用実践論 (言語)	2	木村守	AI時代の文学・言語学の基礎知識として漢字情報法処理における基本的な理論を学ぶ。	○		火	5				16232010
教育支援協働実践開発専攻 (教育AI研究プログラム)	身体系先導的教育応用実践論 (心理)	2	奥村基生	体育・スポーツ心理学における基本的な理論を学ぶ。		○	木	4				16232050
教育支援協働実践開発専攻 (教育AI研究プログラム)	教育ポートフォリオと教育ビッグデータ	2	○森本康彦、 木村守、 梶井芳明	教育ポートフォリオと教育ビッグデータを用いた学びとその評価を効果的に行うための理論と実践法について学ぶ。		○	月	6				16232120
教育支援協働実践開発専攻 (臨床心理学プログラム)	臨床心理学研究法	2	池田一成	臨床心理学の領域における科学実践者としての態度と能力を、講義と演習形式を通して学ぶ。	○		火	5				16330030
教育支援協働実践開発専攻 (臨床心理学プログラム)	発達障害臨床心理学演習	2	池田一成	発達臨床の実践を基礎づける発達障害学や発達神経科学の知識について、講義と演習形式を通して学ぶ。		○	木	2				16330090
教育支援協働実践開発専攻 (臨床心理学プログラム)	臨床生理心理学特論	2	池田一成	生理指標を用いた心理学的アセスメントの方法について全般的知識と技能を学ぶ。	○		火	3				16330150
教育支援協働実践開発専攻 (臨床心理学プログラム)	発達臨床心理学フィールド研究	2	○橋本 創一、 大伴 潔	保育・学校教育フィールドでの幼児児童生徒の保育・教育カウンセリングと発達支援・教育支援について講義・演習形式(実習含む)で学ぶ。		○	金	2				16331090
教育支援協働実践開発専攻 (臨床心理学プログラム)	学校臨床・支援システム特論	2	橋本創一	通常学級に在籍する特別な教育的ニーズのある幼児児童生徒の教育支援・発達支援・学校カウンセリングなどの現代的課題について臨床心理学・教育臨床学から講義する。		○	月	5				16331110
教育支援協働実践開発専攻 (教育協働研究プログラム)	学校教育－生涯学習協働論A	2	君塚仁彦	子どもたちの健やかな成長や発達を目的とする学校教育と生涯学習との連携・協働について、美術館や博物館等の先進的な事例を紹介しながらその意義を論ずる。		○	火	3				16430010
教育支援協働実践開発専攻 (教育協働研究プログラム)	学校教育－生涯学習協働論B	2	倉持伸江	社会教育・成人教育の視点から、地域コミュニティにおける協働のあり方について、教育支援人材および専門職の役割や養成・研修についてなど、実践的・理論的に検討する。		○			木	7		16430020
教育支援協働実践開発専攻 (教育協働研究プログラム)	学校教育－生涯学習協働論E	2	大森直樹	学校教育と生涯学習の歴史と課題について先行研究や教育実践記録にもとづき認識をふかめる。	○		火	3			東5号館3階 防災学習室	16430050

専攻展開科目

開設	授業科目名(日本語表記)	単位	担当教員	講義概要	開設学期		曜日・時限		開講情報			授業コード
					春期	秋期	1~5限	6~7限	隔年情報	集中方式	その他	
教育支援協働実践開発専攻 (教育協働研究プログラム)	学校教育—文化遺産教育協働論A	2	日高慎	考古学・文化遺産に関わる研究成果をどのように学校教育等に生かしていくべきか、その方法を検討する。	○		木1					16430060
教育支援協働実践開発専攻 (教育協働研究プログラム)	学校教育—文化遺産教育協働論B	2	新免歳靖	現在の教育現場における文化遺産・文化財の活用例を通して、その課題と方法を検討する。	○		火5					16430070
教育支援協働実践開発専攻 (教育協働研究プログラム)	学校教育—ソーシャルワーク協働論B	2	内田賢	企業行動を分析する経営学の視点から学校教育とソーシャルワークの協働条件を考える。	○			水7				16430100
教育支援協働実践開発専攻 (教育協働研究プログラム)	学校教育—ソーシャルワーク協働論C	2	角田慰子	障害のある子どもの発達プロセスを踏まえ、学校教育とソーシャルワーク協働の課題について検討する。	○			水3				16430110
教育支援協働実践開発専攻 (教育協働研究プログラム)	学校教育—ソーシャルワーク協働論D	2	露木信介	「医療と福祉」をテーマとし、教育環境を整える上で必要となるソーシャルワーク実践理論について考察する。	○			月3				16430120
教育支援協働実践開発専攻 (教育協働研究プログラム)	学校教育—ソーシャルワーク協働論E	2	梅山佐和	スクールソーシャルワークの視点から、子ども家庭を支える多機関が協働するための実践的な理論と方法について学ぶ—総合的・包括的アセスメント—	○			火3				16430130
教育支援協働実践開発専攻 (教育協働研究プログラム)	学校教育—ソーシャルワーク協働論F	2	梅山佐和	学校教育—ソーシャルワーク協働論Eの内容をふまえて、スクールソーシャルワークの視点から、子ども家庭を支える多機関が協働するための実践的な理論と方法について学ぶ—徹底的プランニング—		○	火4					16430140
教育支援協働実践開発専攻 (教育協働研究プログラム)	学校スポーツ活動支援論A	2	久保田浩史	運動部活動について、様々な支援者(顧問、外部コーチなど)の立場から考える。	○			月2				16430160
教育支援協働実践開発専攻 (教育協働研究プログラム)	学校スポーツ活動支援論B	2	森山進一郎	学校でのスポーツ活動の支援や指導に必要なとなるスポーツ科学的知識について、幅広い視点から考察する。	○			月1				16430170
教育支援協働実践開発専攻 (教育協働研究プログラム)	学校教育と日本語・母語学習支援論A	2	范文玲	日本語指導が必要な児童の抱える問題や取り組み、学校との協働による支援について検討する。	○			金6			中央6号館 1階アジア 研究演習室	16430180
教育支援協働実践開発専攻 (教育協働研究プログラム)	学校教育と演劇・映像B	2	鎌田麻衣子	演劇を中心としたパフォーマンスを教育活動にもちいる芸術教育実践や理論について、文献の講読をとおして学んでいく。	○			火7				16430220
教育支援協働実践開発専攻 (教育協働研究プログラム)	コミュニティ形成と生涯学習B	2	倉持伸江	学び合うコミュニティの形成とその支援のあり方について、特にファシリテーターやコーディネーターの役割を求められる支援者の力量形成について、省察的実践論などを基盤に理論的・実践的に検討する。		○	木7					16431020
教育支援協働実践開発専攻 (教育協働研究プログラム)	コミュニティ形成と生涯学習E	2	大森直樹	地域教育と人権教育について先行研究や教育実践記録にもとづき認識をふかめる。		○	火3				東5号館 防災学習室	16431050
教育支援協働実践開発専攻 (教育協働研究プログラム)	コミュニティ形成と文化遺産教育A	2	日高慎	考古学・文化遺産に関わる研究成果をどのように地域社会の中で生かしていくことができるか、その方法を検討する。		○	月4					16431060
教育支援協働実践開発専攻 (教育協働研究プログラム)	コミュニティ形成と文化遺産教育B	2	新免歳靖	地域の中にある多様な文化資源を見つけ出し、活用する調査・研究方法について検討する。		○	火3					16431070
教育支援協働実践開発専攻 (教育協働研究プログラム)	地域共生社会論B	2	内田賢	地域共生社会の実現に貢献できる企業の条件を経営学の視点から考える。		○		水7				16431100
教育支援協働実践開発専攻 (教育協働研究プログラム)	地域共生社会論C	2	角田慰子	政策課題として「地域共生社会」が提起された背景を学び、地域で暮らす知的障害者の生活支援について考える。		○	木3					16431110
教育支援協働実践開発専攻 (教育協働研究プログラム)	地域共生社会論D	2	露木信介	チーム医療とチーム学校との連携協働、統合や、地域を基盤とした包括的支援体制の構築に必要なとなるソーシャルワーク実践理論について考察する。		○	火4					16431120
教育支援協働実践開発専攻 (教育協働研究プログラム)	コミュニティスポーツ推進論A	2	久保田浩史	地域におけるスポーツ活動・イベントについて、実情を学び、その支援について考える。		○	金1					16431140
教育支援協働実践開発専攻 (教育協働研究プログラム)	コミュニティスポーツ推進論B	2	森山進一郎	地域でのスポーツ活動の推進について、事例や具体的な方法について検討し、考察する。		○	水2					16431150

専攻展開科目

開設	授業科目名(日本語表記)	単位	担当教員	講義概要	開設学期		曜日・時限		開講情報			授業コード
					春期	秋期	1～5限	6～7限	隔年情報	集中方式	その他	
教育支援協働実践開発専攻 (教育協働研究プログラム)	コミュニティ形成と言語・文化学習支援論	2	范文玲	外国にルーツを持つ子供たちのための、言語・文化学習面でコミュニティ形成・支援を検討する。		○	金	5			中央6号館 1階 アジア研究演習室	16431160
教育支援協働実践開発専攻 (教育協働研究プログラム)	コミュニティ形成と演劇・映像D	2	鎌田麻衣子	演劇を中心としたパフォーマンスアーツを社会活動にもちいる応用芸術実践や理論について、文献の講読をとおして学んでいく。		○		火	7			16431210
教育支援協働実践開発専攻 (教育協働研究プログラム)	「チーム学校」と協働教育論	2	○露木信介、 久保田浩史、 森山進一郎	保健医療と福祉、健康やスポーツと学校とのコラボレーションのあり方とその可能性について考察する。		○			火	6	教室未定	16431240
教育支援協働実践開発専攻 (教育協働研究プログラム)	教育制度論A	2	前原健二	学校教育及び学校外の教育に関わる社会的諸制度について文献講読を通じて学ぶ。		○			火	7		16432010
教育支援協働実践開発専攻 (教育協働研究プログラム)	教育制度論B	2	前原健二	学校教育及び学校外の教育に関わる政策形成と制度構築について文献講読を通じて学ぶ。				○		火	7	16432020
教育支援協働実践開発専攻 (教育協働研究プログラム)	教育制度論C	2	岩田康之	公教育と教師に関わるシステムについて、基本概念についてのテキスト講読を主に理解を深める。		○			火	4	西2号館2階 第3会議室	16432030
教育支援協働実践開発専攻 (教育協働研究プログラム)	教育制度論D	2	岩田康之	学校教育と教師に関わる制度的・政策的な改革動向について、事例を基に具体的な検討を加え、構造的な理解を深める。			○		火	5	西2号館2階 第3会議室	16432040
教育支援協働実践開発専攻 (教育協働研究プログラム)	教育法規・財政論A	2	佐々木幸寿	教育法、学校法についての講義、演習、討議を通じて、教育組織運営に必要な法的知識を体系的に学び、行政実務能力を身につける。		○			水	7	中央7号館 5階 教育学総合 実験室	16432050
教育支援協働実践開発専攻 (教育協働研究プログラム)	教育法規・財政論B	2	佐々木幸寿	学校教育に関する判例、学校法務について講義、演習、討議を通じて、行政運営に必要な危機管理能力、法的実務能力を総合的に身につける。			○		水	7	中央7号館 5階 教育学総合 実験室	16432060
教育支援協働実践開発専攻 (教育協働研究プログラム)	教育経営論A	2	末松裕基	教育経営改革の動向について理論的・実践的に考察し、教育経営の基礎的な理解を目指す。		○			水	3		16432070
教育支援協働実践開発専攻 (教育協働研究プログラム)	教育経営論B	2	末松裕基	教育経営の国際的動向について、社会・政治的背景も踏まえて理論的検討を行う。			○		水	3		16432080